

イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/4/15作成 (株)新出光

【概況】＜加盟国の追加放出～ロシア制裁処置強まる＞

●8日、主要消費国による備蓄の協調放出を受けた売りの流れに一服感が出ていますが、ウクライナ情勢が悪化する中で日米欧が対ロシアに制裁を強めて相場を下支えしています。また、ドル相場の上昇が一服した事も追い風となり、WTI原油は終盤にかけ97.73ドルと値上げとなりました。

●11日、先週米国以外の加盟国が、石油備蓄6,000万バレルを追加放出する方針で合意したため、供給逼迫感が幾分緩和し、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う原油価格の高騰を抑える事ができるとの観測が浮上し、WTI原油は、93.92ドルまで反落しました。

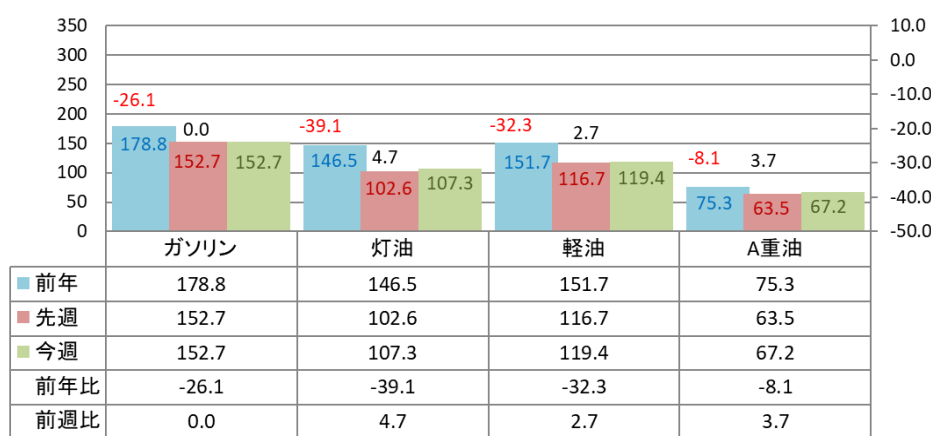
●12日、ウクライナ侵攻を非難する西側諸国からの経済制裁や物流制約により貿易が阻害されており、ロシアの石油・ガスコンデンセート生産は、日量976万バレルと2020年7月以来の低水準に落ち込んでいます。また、欧州連合(EU)はロシア産石炭輸入の禁止を決定し、さらに原油や天然ガスの禁輸措置を講じるかについて協議を進めています。ロシア産の供給減少分の穴埋めに消極的なOPEC側の姿勢から、国際市場のエネルギー供給逼迫への警戒感が強まりWTI原油は、100.6ドルへ反発しました。

●13日、ロシアのプーチン大統領は、停戦交渉に関して、ウクライナ側の翻意によって「再び行き詰まりの状態に戻った」と非難し、合意に達しない限りは当面戦闘を続ける意向を示しました。これを受けて、供給混乱に対する警戒感が再び浮上りWTI原油は、104.25ドルへ値上りしました。

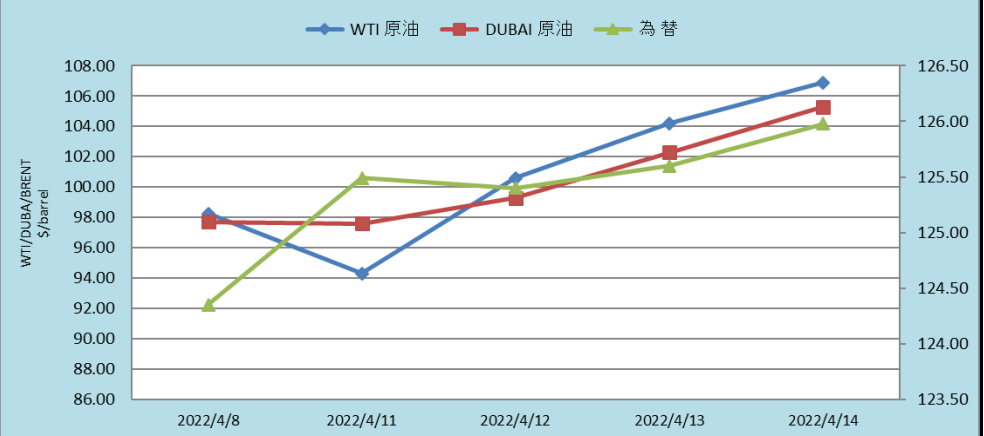
●14日、ウクライナ危機を受けて米欧などが対ロシア制裁を強化すれば、国際エネルギー市場での需給逼迫が強まるとの懸念が引き続き相場を支えています。欧州連合(EU)がロシア産原油の禁輸を段階的に導入する方向で動いており、対ロシア制裁や同国産原油購入回避の影響は5月以降に本格化する見通しです。

4月15日 17:00現在 WTI原油 106.54ドル 為替 1ドル 127.37円

国内石油製品在庫 4月9日時点 単位万KL



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ 単位 円



	次回元売変動予測	
	4/21～	元売変動予測
ガソリン	→	-0.7~-1.2
灯油	→	-0.7~-1.2
軽油	→	-0.7~-1.2
A重油	→	-0.7~-1.2
LSA	→	-0.7~-1.2

【製品卸価格】＜市況連動玉販売強化＞

＜今週＞今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「-3.0円」、補助金「-20.3円」となり、実質「-2.6円」の値下げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの11日時点の小売価格平均は174.0円となっております。今週のマーケットの主役は、先週と同様に市況連動玉を持つ業者で先安観があるため先行して値下げし販売枠を消化しています。

＜4月16日以降＞次回の元売り改定は、原油コスト「+3.5～+4.0円」の値上げ改定予測で、激変緩和補助金は「-25.0円」の見込みで、都合「-0.7円～-1.2円」の改定の予測となっております。4月16日以降の販売の主役は、元売週間玉を持つ業者です。先週販売を強めた市況連動玉はある程度販売枠の消化が進んだため踏み込んだ価格提示は控え、無理せず販売枠を消化しています。直近の原油相場については値上がりしており激変緩和補助金も来週の改定で上限に達する見込みのため28日からは、原油上昇分がそのまま仕切りに反映される見込みです。そのため販売枠を残している業者は、どのタイミングで販売すれば優位性を発揮できるかを見極め、各社それぞれの思惑で枠消化を進めていくものと思われます。

※原油コスト「+3.5円～+4.0円」
 ※激変緩和補助金「-25.0円」
 ※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】＜太陽光と水から水素と過酸化水素を生成＞

名古屋大学・神戸大学・科学技術振興機構は、光触媒であるヘマタイト(赤さび)を助触媒となるスズ(Sn)とチタン(Ti)の複合酸化物(SnTiOx)で被膜することで、太陽光と水から水素と過酸化水素を効率よく選択的に生成することに成功しました。過酸化水素は消毒剤、洗剤、化粧品、漂白剤、浄水、土地改良などの用途に使われています。また、水素の製造と同時に過酸化水素を生成することはほとんどできなかった為、新たな発見となりました。今後は、光触媒電極の効率をさらに高めていくと共にセルを構成、小型モジュール化することで、社会実装に向けて弾みをつけていきたいとの事です。このようなイノベーションを起こす前向きな挑戦を後押しし、産業構造や経済社会の変革が実現されることを期待いたします。

[出典]

① https://news.biglobe.ne.jp/it/0401/zks_220401_2151179425.html